

## Question 6

行動計画の策定に当たって、どのような事前の準備をすればよいですか

### Answer

#### 1. 自社の方針を明確にしましょう

行動計画の策定にあたっては、経営者が明確に「仕事と家庭の両立支援」を人事戦略の1つとして位置づけることが不可欠です。

まずは、経営者が自社の取組方針を明確にしましょう。認定を受けるかどうかによって、計画の内容が異なってくることもあるので、認定を希望するのかどうかを、事前に明確にしておきましょう。

#### 2. 自社の現状を把握しましょう

行動計画は、自社の実情を踏まえ、「現状よりも少しでもよい労働環境にすること」が大切です。そのためには、現状を把握することが必要です。自社の現状を把握する方法としては、例えば以下のようなものが考えられますが、これらの中から、自社に合った方法を選んでください。

##### ● 自社の育児支援制度の利用状況を確認する

一定期間（例えば、過去5年程度）をさかのぼって、自社の両立支援関係制度の次の利用状況を把握しましょう。

- ・性別や年齢別の利用者数
- ・どのように利用されているのか
- ・育児・介護などを理由とした退職者数、など

##### ● 厚生労働省が定めた「両立指標」を活用して、両立支援レベルの他社との比較をする

あなたの会社で行われている両立支援策が、同じ業種・地域・規模の他社と比べてどの程度のレベルにあるかを確認するには、厚生労働省が定めた「両立指標」を活用すると便利です。

次のホームページにアクセスしてください。グラフ等により、自社の自立支援レベルがわかります。

**「ファミリー・フレンドリーサイト」** <http://www.familyfriendly.jp>

##### ● 国が作成した「行動計画策定指針」を活用して、自社の課題を確認する

自社の課題を詳しく確認したいときは、次のページの、国が作成した「行動計画策定指針」の各項目に沿って、「自分の会社はどの程度できているか」を○×△でチェックするのもよいでしょう。「従業員が意欲を持って働くために、何が必要か」がわかります。

この行動計画策定指針は、行動計画の策定を都道府県労働局に届け出る様式にも掲載されています。

→行動計画の届出様式は17ページを参照ください。

##### ● 自社のレベルをチェックする

10ページの『うちの会社のレベルをチェック』で、自社の「仕事と家庭の両立レベル」が確認できます。ぜひ試してみてください。

#### 3. 従業員のニーズを把握しましょう

従業員のニーズを把握するには、自己申告やアンケート、対象者を集めたヒアリングやグループインタビューなどを行うことが有効です。また、日頃のコミュニケーションの中にも大切なことはたくさんあるでしょう。

よい計画を策定するには、無理のない方法で、従業員の率直な意見を収集できるような方法を取り入れることが重要です。